

特別賞

いちい (福島)

「有機」の流通モデル



県産有機農産物の安全性や魅力を発信する伊藤常務（左から2人目）ら



伊藤 信弘
社長

故の風評などで販路を失った有機農産物を全量買い取り、週三回集荷する。主に福島市のいちい十店舗で販売している。買い取り価格は生産者の希望を聞いた上で決めている。

海産物商として創業し、現在は東北地区などでスーパーマーケットを軸に事業展開している。東京電力福島第一原発事故発生後、安全・安心な県産農産物を消費者に届けたいとの思いから、新たな流通モデルの構築を目指してきた。

二〇一四年に二本松市の生産者団体オーガニックふくしま安達（関元弘代表幹事）、福島市の物流業者アイリーサービス（引地孝之社長）と連携し、高品質で高鮮度の有機農産物を販売する体制を整えた。原発事故

いちい全体で、将来的に取り扱う野菜の一角を有機農産物に切り替える計画。伊藤信弘社長（左）と伊藤翼常務・管理本部長（右）は「今後も生産者、物流業者と一体となって県産品の魅力が詰まった商品を届けた」と前を見据えている。

第6回 ぶくしま産業賞
ぶくしま経済・産業・ものづくり局

晴れの受賞社・団体

×
モ

- ▷設立—1892（明治25）年 4月
- ▷従業員数—1266人
- ▷住所—福島市さくら1丁目2の1
- ▷社長—伊藤信弘
- ▷電話番号—024(594)1111